

扇祭が始まりました。

9月29日(火)の午前中、中学生が体育館で弁論大会を行いました。この日のために1学期から準備を重ねていた成果が十分に発揮され、堂々とした発表をすることができました。自分の意見を、正しく相手に伝えることは難しいです。同時に、相手の言いたいことを正確に掴み取るということも難しい。意思疎通を図ることを繰り返せば、時に反発することもあるでしょう。その中で、他人の意見を受け入れることを学び

ましょう。文化祭準備も進んでいます。その中で「人と一緒に作業するのは難しい」と感じることも多いのではないのでしょうか。その経験は重要で、成長に必要なもの。財産になるもの。その壁を乗り越えて、大成功の扇祭を目指しましょう。

クラスTシャツ コンテスト

全てのクラスでエントリーをしていただいた「クラスTシャツコンテスト」。クラスに1冊のカタログと、部活動掲示板の付近に一覧表を貼りだしています。

投票は文化祭準備日の10月1日の朝です。短い時間で行われますので、投票日までに自分の気に入ったTシャツを1枚、選んでおいてくださ



い。今年は、体育大会時に着用することも可能となっています。たくさんの作品を見て、「より良いもの」を選びましょう。「来年度はもっとこうしたい!」と刺激をうけるような作品に出会えるとよいですね。

続・運動部のこんな活動。

柔道部

先号に引き続き、「毎日の練習の他にも、こんな活動をしている」という部活動の紹介です。今回は柔道部。正門からはいって右手にある花壇は、柔道部のみなさんがお世話してくれています。それぞれの季節に合わせた花を植え、通りかかる人たちを喜ばせてくれているのは、柔道部の尽力によるもの。扇祭で多くの来場者が来ることもあり、きれいに彩られています。本校に通っている皆さんは、是非自分の目で見て、季節を感じてください。また、それぞれの季節で何が植えられているのか、楽しみにしながら学校に通うのも風情があると思います。



なお、夏に咲いているヒマワリの種は、高蔵で咲いた花からとっているものです。その中に、3年前に「東北ボランティア」に参加した生徒が、現地で拾ってきたヒマワリの種から育てているものがあります。震災という被害に遭いながらも、場所を変え、強く咲いている花。来年の夏も楽しみです。

夏休みの活動。オーストラリア語学研修。

今年で4年目となるオーストラリアでの語学研修。海外で学ぶ経験はとても貴重で、代えがたいものです。その内容・感想を聞くだけでも、大いに参考になり、刺激になります。

裏面に参加生徒の感想の一部を掲載しました。また、今週末の文化祭においても、C6教室で、その内容の展示がなされています。是非足を運んでみてください。



(感想1)

オーストラリアに着いた次の日から早速、学校が始まります。毎朝2人で森の中の通学路を歩くだけでとてもわくわくしました。空気はとてもひんやりしていて、日本の冬のそれとは少し違う気がしました。なかなか英語が出てこず黙っていると、それを察してくれたのか、分かりやすい天気の話を持ちかけてくれました。それからは毎朝、天気の話をしてから一日がスタートしました。他にも今日の予定や体調のことについても話しました。思っていることを上手く伝えられると、とても嬉しく感じました。

授業では、オーストラリアの歴史や文化、動物について学習しました。オーストラリア原産の植物は全て常緑樹ということにはとても驚きました。オーストラリアの学校は昼食の時間が遅いので、昼食の前にリセスというお菓子などを食べてもいい時間があります。一度モントモレンシー高校の生徒の名前と顔を覚えてしまえば、自分から積極的に誘えるようになりました。このリセスのおかげで多くの友達を作ることが出来ました。モントモレンシーには日本語を話せる生徒もいて、英語での言い方が分からなかった時に助けてくれました。

日本の文化を紹介しに小学校へ行ったときは、発表するダンスが子どもたちに楽しんでもらえるかとても心配でしたが、いざやってみると大盛況で心配の必要は全くありませんでした。文化の紹介もみんな楽しんで見てくれて、大成功でした。モントモレンシーでの発表も最後までしっかりやりきることが出来ました。

学校で終了式があった日に僕のホストが家でお別れパーティーを開いてくれました。今回の研修の参加者はもちろん、オーストラリアでできた友達など30人以上が家に集まりました。テンションが上がるリズムのいい曲を流しながらのパーティーで、夜遅くまで語り合い、踊りました。パーティーが終わり、みんなが帰ったあとの片付けをしていると、なんだかとても寂しい気持ちになりました。

ホストファミリーとの別れのときは、「また、会いましょう!!」と笑顔で挨拶を交わしました。ホストブラザーのダニエルくんは来年の冬に日本に来る予定です。そのときは僕の家滞る約束をしました。

また近いうちに、友達とオーストラリアの家族に会いに行きたいと思います。



(感想2)

私は、7月18日から8月2日までオーストラリア語学研修に参加しました。最初は、言葉が通じない知らない場所に一人でホームステイをすることに不安や心配がありましたが、実際に2週間ホームステイを体験してみて、私の中で言葉が通じないという不安がなくなり、英語が通じた時の喜びや、英語が耳に馴染んできて聞き取れるようになる嬉しさを感じる事が出来ました。

特に嬉しいと感じたのは、カンタベリー高校の全校集会で挨拶をする機会をいただきスピーチをしたことです。前日にホストファミリーと一緒に練習をした際、「ゆっくり、笑顔で自信を持って」とアドバイスを受けました。緊張で手も足も震えてドキドキしましたが、暗記した言葉を笑顔で自信を持って言うことが出来ました。終わった後、カンタベリーの生徒から「スピーチよかったよ」「英語上手だね」とたくさん声をかけてくれて、それがすごく嬉しくて自分に自信を持てるようになりました。

オーストラリアでの生活は毎日が楽しく、学校では皆優しく受け入れてくれて、日本語で話しかけてくれたり一緒にいろんな話をしたり、たくさんお友達ができました。ヘレン先生の英語の授業も、ゲームをしながら英語を覚えることで、楽しく英語を学ぶことが出来ました。ホストファミリーは私をととても温かく受け入れてくれて、日本語が上手な家族だったのですが、私の勉強のために日本語ではなく英語で話しかけてくれ、わからない英語も丁寧に教えてくれました。2週間でしたが、本当の家族のように迎え入れてくれ私も本当の家族だと思えるくらい仲良くなる事が出来ました。

私の経験したこの2週間は、今までの中で一番の挑戦でしたが、一番の思い出になったと思います。

